

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

- 1 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
- 2 私たちは、法令を遵守します。
- 3 私たちは不祥事を許しません。
- 4 私たちは、地域に開かれた学校にします。

不祥事根絶のための行動計画

福山市立大門中学校

作成責任者校長藤井清孝

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<p>○サービス研修において通知等の伝達になりがちで、形式的である。</p> <p>○生徒や保護者の立場にたって行動ができていない。</p>	<p>○研修方法を見直し、より自らのこととして考えられる、具体的なものにしていく。</p> <p>○生徒や保護者の願いを十分に聞ける場の設定をする。</p>	<p>○全職員にアンケート調査を行い、研修内容や方法について改善を行う。</p> <p>○参観後の学級懇談会を学期に1回は設定する。</p>	<p>○学期に1回アンケートを行い調査する。</p> <p>○参観・懇談会前後に、学級役員さんとの打ち合わせにより、保護者の思いを把握する。各学期末に全保護者を対象に学校アンケートを行い調査する。</p>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<p>○学年や学校として、意識統一が十分に図られていない。</p> <p>○不祥事防止委員会のメンバーは、常に協議しているので意識が高いが、全職員にまで危機意識が高いレベルで伝わっていない。</p>	<p>○学年会や分掌会などで、十分意見を交流し、同じ目標で取り組む。</p> <p>○毎月各自のヒヤリハットを学年会、分掌会等で出し合い、高いレベルで危機意識をもつ。</p>	<p>○学年会・分掌会等で進捗状況を確認する。</p> <p>○毎月、各自のヒヤリハットを文章で提出する。</p>	<p>○毎月、学年主任会で進捗状況を確認する。</p> <p>○毎月の不祥事防止委員会でヒヤリハットの内容の確認と方向性を検討する。</p>
相談体制の充実	<p>○相談窓口の認知度が低い。</p> <p>○生徒と関わる時間が十分にとれていない。</p>	<p>○年間を通して、相談窓口の周知を行う。</p> <p>○年3回の面接週間を機能する相談しやすい体制づくりを行う。</p>	<p>○学校たより、学年通信等で繰り返し周知するとともに、学校行事やPTA活動・地域の会議等でも周知する。</p> <p>○面接の時間確保と相談事例を示し、相談したい内容を事前アンケートに書かせる。</p>	<p>○各学期末に全保護者を対象に学校アンケートを行い調査すると共に窓口を定期的に周知する。</p> <p>○各学期末に相談事例を示し全保護者を対象に学校アンケートを行い調査する。</p>